真岡市行政評価システム

評価対象年度　令和7　年度　　**事務事業評価マネージメントシート**　　作成日　令和8年3月12日

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 事務事業名 | 観光拠点施設管理運営事業 | | 担当課・係 | 産業部　商工観光課　観光係 |
| 政策名　No | 3 | 「にぎわいづくり」～まちの活力アップ！～ | 関連するSDGs･DX |  DX |
| 施策名　No | 4 | 観光の振興 | | |

| 成果指標 | 名　称 | 単　位 | 初年度からの実績値の比較 R7 | R8 | R9 | R10 | R11 | 目標値 R11 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 久保記念観光文化交流館（観光物産館）来館者数 | 人 | 24,970 | | | | | |
| | 観光物産館販売額 | 千円 | 10,540 | | | | | |
| | SLキューロク館来館者数 | 人 | 111,866 | | | | | |
| | キューロク館売店及び体験料金収入 | 千円 | 14,674 | | | | | |
| | 客一人あたりの消費額 | 円 | 1,190 | | | | | 1,400 |
| | | | | | | | | |

**事業内容**

【久保記念観光文化交流館】
「観光まちづくりの拠点」と位置づけ、観光の発信・誘客につながる施設として平成26年10月に開館。平成30年度に、観光物産館にｳｯﾄﾞﾃﾞｯｷを敷設し、観光客や来館者が集い憩える場を設置。指定管理者として、H26.10.1より真岡市観光協会が運営。R5.4.1に指定管理の更新を行い、現在の指定管理者も真岡市観光協会、指定期間はR5.4.1からR10.3.31。
R5からは指定管理料の精算制を導入し、維持管理費の余剰分と売上ノルマ未達分を指定管理者から返還させている。
【施設概要】
施設：久保記念館、観光物産館、観光まちづくりセンター、未術品展示館、トラットリアココロ（おもてなし館）　　開館時間：午前9時～午後5時まで
休館日：毎週火曜日休館、但し祝日の場合は翌日。年末年始（12/29～1/3）

【ＳＬキューロク館】
「ＳＬの走るまち」という市のイメージをさらに広め、観光の振興、交流人口の増加並びに周辺地域の賑わい創出を図るために、H25.4.28に開館。9600形は、土曜日・日曜日・祝日に3回（午前10時30分、正午、午後2時30分）走行を実施している。その後、動態整備が完了したD51を活用した「D51運転体験」を開催。指定管理者として、平成25年度より真岡鐵道株式会社が運営。R5.4.1に指定管理の更新を行い、現在の指定管理者も真岡鐵道（株）、指定期間はR5.4.1からR10.3.31。
R5からは指定管理料の精算制を導入し、維持管理費の余剰分と売上ノルマ未達分を指定管理者から返還させている。
【施設概要】
構造：鉄骨造平屋建（53.46m×10.46m×高さ12m）　　展示車両：9600形SL、D51号SL、スハフ44形客車、キハ20形ディーゼル車、ヨ8000形車掌車　　開館時間：午前10時～午後6時まで
休館日：毎週火曜日休館、但し祝日の場合は翌日。年末年始（12/29～1/3）

**前年度の課題（Check）**

【久保記念観光文化交流館】
来館者数は前年比約５%増、販売額は約４%増となっている。
しかし、コロナ禍前の令和元年度の基準にはまだ及んでいない。
今後は、主催事業の実施や観光物産品のＰＲ強化を行い、更なる来館者数と販売額の増加を図る必要がある。

【ＳＬキューロク館】
来観客数が前年比約１５%減、販売額が前年比約３%減となっている。来観客数はコロナ禍前の令和元年度の基準まで回復していない状況であるが、販売額は過去最高額を記録した昨年度に近い金額で推移している。
今後は、グッズのＰＲやイベントのＰＲに加え、主催事業を実施し、更に来観客数、販売額の増加を図る必要がある。

**7年度振り返り**

【１】実績（Do）７年度に実施した事業

【久保記念観光文化交流館】
・34,196,457円で年度協定を締結し指定管理業務を実施。
　業務内容は主に観光物産館の運営、久保邸こどもの日、木綿と魔法のハロウィンマルシェ（周年記念）、久保邸クリスマスのイベント実施。
　観光物産館における利益ノルマを2,043,347円にて設定。
・おもてなし館（Cocoro）の冷蔵庫とカウンターショーケースの応急修繕を実施。
【ＳＬキューロク館】
・32,759,000円で年度協定を締結し指定管理業務を実施
　業務内容は主に売店の運営、９６号、Ｄ５１の乗車体験、ＳＬキューロク館お客様感謝デーやＳＬフェスタ等のイベント実施。
・売店利益と乗車体験料金等のノルマを6,000,000円に設定。
・ＳＬキューロク館駐車場借地について、借地料の算出方法を変更し、4月1日契約締結。
　ただし地籍についても不明瞭な部分があったことから、測量を実施し、地籍を変更しR8.4/1に改めて契約締結
・イベント引当金の使用用途について市の方向性を決定した。

【２】結果と課題（Check）

【久保記念観光文化交流館】
・観光物産館の入館者数は24,970人　昨年度と比較し106人増加
・観光物産館の売上は10,540,074円　昨年度と比較し442,224円減少
　利益は2,194,669円でノルマ（2,043,347円）を達成。
・おもてなし館厨房機器が経年劣化により故障が相次いでいることから応急修繕だけでなく更新の必要性がある。
・上記により、賃貸借料の変更が生じることから、借受者であるCocoroと交渉していく必要がある。

【ＳＬキューロク館】
・入館者数は111,866人　昨年度と比較し16,223人減少
・売店の売上と体験料金の収入は14,674,300円　昨年度と比較し406,672円減少
　利益は6,925,591円でノルマ達成。
・市の方向性を決定したイベント引当金の使用用途について、指定管理者と交渉を行う必要がある。
・コロナ前と比較するとイベントの実施回数や規模が縮小しており、従来のように積極的にイベント等を実施していく体制の構築が必要

**今後の方向性と具体策**

□ 廃止　□ 休止　□ 目的絞り込み　□ 目的拡充　□ 事業統廃合　□ 事業のやり方改善　□ 予算削減　□ 予算増大　■ 現状維持(従来通りで特に改革改善しない)

【３】具体的な改善策(Action➡Plan)　課題に記載された内容の解決に向けた取り組みについて、**いつ、何を、どのように実施し解決に導くのかを具体的に**記載してください。

（1）ただちに取り組むべきこと
【久保記念観光文化交流館】
おもてなし館厨房機器の更新計画の策定。
上記により、賃貸借料の試算を行い、借受者であるCocoroと交渉を行っていく。

【ＳＬキューロク館】
市、指定管理者間でのイベント引当金の使用用途の決定。
１～３月を目安に自主事業を実施、初年度は市において支援を行っていく。

（2）長期的な計画で検討すること
【久保記念観光文化交流館】
観光物産館の売上を向上させることで、自主財源を確保し、指定管理料の予算削減を図る。

【ＳＬキューロク館】
売店、体験料金の売上等を向上させることで、自主財源を確保し、指定管理料の予算削減を図る。